

## 杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務 受託者候補者の選定結果について

西宮中学校は、老朽化による改築に合わせて（仮称）コミュニティふらっと宮前を併設することとしており、令和7年9月に改築・整備で目指す施設像や規模等を含む基本計画を定め、その具体化に向けた設計業務を委託する事業者を公募型プロポーザル方式で選定することとしていました。

当該業務について、受託者候補者を公募したところ、6事業者から応募がありました。これらの事業者について、「杉並区プロポーザル選定委員会条例」に基づき設置した「杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務受託者候補者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において審査した結果、以下の事業者が受託者候補者として選定され、当該事業者と契約を締結しましたので報告します。

### 1 選定事業者の概要

- (1) 事業者名 株式会社昭和設計東京事務所
- (2) 代表者 取締役所長 高木 秀晃
- (3) 所在地 東京都港区芝浦三丁目16番20号
- (4) 主な事業 都市・建築・調査・企画・設計・監理・コンサルティング事業等

### 2 選定経過等

選定委員会において、実施要領及び評価基準を定め、応募があった6事業者について、第一次審査（書類審査）を行い、配点合計の6割以上を取得した5事業者に対し、第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）を実施した。

その結果、第一次審査及び第二次審査の審査配点においてともに6割以上を取得した事業者のうち、第一次審査点と第二次審査点との合計が最も高い事業者を受託者候補者として選定した。選定結果は別紙のとおり。

#### <選定経過>

令和7年	9月25日	選定委員会の設置
	10月4日	第1回選定委員会の開催（実施要領及び評価基準の決定）
	10月7日	公募開始
	10月27日	公募締切（6事業者）
	11月13日	第2回選定委員会の開催（第一次審査）
	12月20日	第3回選定委員会の開催（第二次審査、受託者候補者の選定）

<選定委員会の構成>

職 名 等	氏 名
千葉大学大学院 工学研究院 教授	柳澤 要 (会長)
前橋工科大学工学部 准教授	堤 洋樹
東京学芸大学こどもの学び困難支援センター 准教授	入江 優子
杉並建築会 代表	林 美樹
教育委員会事務局次長	井上 純良
教育委員会事務局学校整備・支援担当部長	高山 靖
区民生活部長	寺井 茂樹

3 今後の主なスケジュール (予定)

令和8年 9月 基本設計完了  
10月 実施設計着手  
令和10年 3月 建設工事設計等業務の完了

杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務

別紙

公募型プロポーザル 選定結果

評価項目		配点	A社	B社	C社	D社	E社	F社	
経営状況等	経営状況	8	4.0	0.0	8.0	6.0	6.0	8.0	
	業務遂行能力等	8	8.0	5.7	4.3	8.0	8.0	8.0	
労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	3.0	3.0	2.9	3.0	2.1	3.0	
	社会課題への対応	4	2.0	0.0	0.0	2.0	2.7	2.0	
区内事業者点	区内事業者	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	区内協力事業所	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	6.0	4.0	5.7	8.0	8.0	6.0	
	集会施設等の実績	4	3.9	4.0	3.9	4.0	3.0	3.0	
ZEB化実績	ZEB化実績	4	3.1	3.0	3.0	4.0	3.0	4.0	
総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8	3.9	
	予定する意匠担当	4	3.0	3.9	4.0	4.0	3.0	3.0	
	予定するその他の担当者	4	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.0	
基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	7.3	7.3	7.7	9.9	10.7	9.9	
	提案の妥当性	8	4.6	4.6	6.0	6.9	7.4	6.6	
	取組姿勢・意欲	8	4.3	4.6	5.4	6.6	6.6	6.6	
	一体的整備への姿勢・意欲	8	4.6	4.6	5.1	6.3	7.1	6.6	
第一次審査合計 ※各委員の合計評価点の平均点（小数点第2位四捨五入）		96	61.7	52.3	64.0	76.6	75.6	73.4	
得点率		100%	64%	54%	67%	80%	79%	76%	
第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12	7.3		8.1	7.3	10.3	7.3
		目標Ⅱへの提案についての評価	12	6.9		8.1	7.3	9.9	8.1
		目標Ⅲへの提案についての評価	12	7.3		8.1	7.7	8.6	8.6
		目標Ⅳへの提案についての評価	12	6.0		7.3	6.4	9.0	8.6
	ビジョン2の 技術提案評価	目標Ⅴへの提案についての評価	12	6.9		7.7	8.1	9.4	8.1
		目標Ⅵへの提案についての評価	12	6.9		8.6	8.1	8.6	8.6
	ビジョン3の 技術提案評価	目標Ⅶへの提案についての評価	12	6.4		9.0	8.1	9.9	10.3
		目標Ⅷへの提案についての評価	12	6.9		9.0	8.6	9.4	9.4
	課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮	業務内容と課題等への理解	12	6.0		8.1	9.0	9.4	7.7
		工程、手順の効率化と工期短縮	8	5.1		5.1	4.9	6.0	5.4
	工事費削減、 LCC、見積額	工事費削減の実績	4	2.1		2.4	2.4	2.9	2.3
		工事費削減提案の妥当性等	8	3.7		4.9	5.1	6.0	5.1
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8	4.3		6.3	4.9	5.4	5.1
		設計業務費の見積額	4	2.0		2.1	2.1	2.4	2.1
総合評価	総合評価	12	6.0		7.3	7.3	9.0	7.7	
第二次審査合計 ※各委員の合計評価点の平均点（小数点第2位四捨五入）		152	83.7		102.3	97.4	116.1	104.6	
得点率		100%	55%		67%	64%	76%	69%	
第一次審査・第二次審査 総計		248	145.4		166.3	174.0	191.7	178.0	
得点率		100%	59%		67%	70%	77%	72%	

・参加事業者一覧（五十音順）

有限会社香山建築研究所、株式会社佐野建築研究所、株式会社昭和設計東京事務所、  
株式会社大建設東京事務所、株式会社内藤建築事務所東京事務所、株式会社三上建築事務所

	評価項目	配点	A社							
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦	
第一次審査	経営状況等	経営状況	8	4	4	4	4	4	4	4
		業務遂行能力等	8	8	8	8	8	8	8	8
	労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	3	3	3	3	3	3	3
		社会課題への対応	4	2	2	2	2	2	2	2
	区内事業者点	区内事業者	4	0	0	0	0	0	0	0
		区内協力事業所	4	0	0	0	0	0	0	0
	応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	6	6	6	6	6	6	6
		集会施設等の実績	4	4	4	4	4	4	4	3
	ZEB化実績	ZEB化実績	4	3	3	3	3	3	3	4
	総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4	4	4	4	4	4	4
		予定する意匠担当	4	3	3	3	3	3	3	3
		予定するその他の担当者	4	4	4	4	4	4	4	4
	基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	6	6	9	6	9	6	9
		提案の妥当性	8	4	4	6	4	6	4	4
		取組姿勢・意欲	8	4	4	6	4	4	4	4
		一体的整備への姿勢・意欲	8	4	4	6	4	4	4	6
	第一次審査合計（評価点/配点合計）		96	59	59	68	59	64	59	64
			100%	61%	61%	71%	61%	67%	61%	67%
	第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12	9	6	6	6	9	6
目標Ⅱへの提案についての評価			12	6	9	9	6	6	6	6
目標Ⅲへの提案についての評価			12	6	9	6	9	9	6	6
目標Ⅳへの提案についての評価			12	6	6	6	9	9	6	0
ビジョン2の 技術提案評価		目標Ⅴへの提案についての評価	12	6	9	6	6	6	9	6
		目標Ⅵへの提案についての評価	12	9	6	6	6	9	6	6
ビジョン3の 技術提案評価		目標Ⅶへの提案についての評価	12	6	6	6	6	9	6	6
		目標Ⅷへの提案についての評価	12	6	6	9	6	9	6	6
課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮		業務内容と課題等への理解	12	6	6	6	6	9	9	0
		工程、手順の効率化と工期短縮	8	6	6	4	4	6	6	4
工事費削減、 LCC、見積額		工事費削減の実績	4	2	2	2	2	3	2	2
		工事費削減提案の妥当性等	8	4	4	4	4	6	4	0
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8	6	4	4	4	4	4	4
		設計業務費の見積額	4	2	2	2	2	2	2	2
総合評価	総合評価	12	6	6	6	6	6	6	6	
第二次審査合計 (評価点/配点合計)		152	86	87	82	82	102	84	63	
		100%	57%	57%	54%	54%	67%	55%	41%	
第一次審査・第二次審査 総計 (評価点/配点合計)		248	145	146	150	141	166	143	127	
		100%	58%	59%	60%	57%	67%	58%	51%	

	評価項目	配点	B社								
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦		
第一次審査	経営状況等	経営状況	8	0	0	0	0	0	0	0	
		業務遂行能力等	8	6	6	6	6	6	6	4	
	労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	3	3	3	3	3	3	3	
		社会課題への対応	4	0	0	0	0	0	0	0	
	区内事業者点	区内事業者	4	0	0	0	0	0	0	0	
		区内協力事業所	4	0	0	0	0	0	0	0	
	応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	4	4	4	4	4	4	4	
		集会施設等の実績	4	4	4	4	4	4	4	4	
	ZEB化実績	ZEB化実績	4	3	3	3	3	3	3	3	
	総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4	3	4	4	4	4	4	
		予定する意匠担当	4	4	3	4	4	4	4	4	
		予定するその他の担当者	4	4	3	4	4	4	4	4	
	基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	6	6	9	6	9	6	9	
		提案の妥当性	8	4	4	6	4	6	4	4	
		取組姿勢・意欲	8	4	4	6	4	6	4	4	
		一体的整備への姿勢・意欲	8	4	6	4	4	4	4	6	
	第一次審査合計（評価点/配点合計）		96	50	49	57	50	57	50	53	
			100%	52%	51%	59%	52%	59%	52%	55%	
	第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12							
			目標Ⅱへの提案についての評価	12							
目標Ⅲへの提案についての評価			12								
目標Ⅳへの提案についての評価			12								
ビジョン2の 技術提案評価		目標Ⅴへの提案についての評価	12								
		目標Ⅵへの提案についての評価	12								
ビジョン3の 技術提案評価		目標Ⅶへの提案についての評価	12								
		目標Ⅷへの提案についての評価	12								
課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮		業務内容と課題等への理解	12								
		工程、手順の効率化と工期短縮	8								
工事費削減、 LCC、見積額		工事費削減の実績	4								
		工事費削減提案の妥当性等	8								
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8								
		設計業務費の見積額	4								
総合評価		総合評価	12								
第二次審査合計 (評価点/配点合計)		152									
		100%									
第一次審査・第二次審査 総計 (評価点/配点合計)		248									
		100%									

	評価項目	配点	C社								
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦		
第一次審査	経営状況等	経営状況	8	8	8	8	8	8	8	8	
		業務遂行能力等	8	4	4	4	6	4	4	4	
	労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	3	2	3	3	3	3	3	
		社会課題への対応	4	0	0	0	0	0	0	0	
	区内事業者点	区内事業者	4	0	0	0	0	0	0	0	
		区内協力事業所	4	0	0	0	0	0	0	0	
	応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	6	6	6	6	6	6	4	
		集会施設等の実績	4	4	3	4	4	4	4	4	
	ZEB化実績	ZEB化実績	4	3	3	3	3	3	3	3	
	総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4	4	4	4	4	4	4	
		予定する意匠担当	4	4	4	4	4	4	4	4	
		予定するその他の担当者	4	4	4	4	4	4	4	4	
	基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	6	6	9	9	9	6	9	
		提案の妥当性	8	4	4	8	6	8	4	8	
		取組姿勢・意欲	8	4	4	6	6	6	4	8	
		一体的整備への姿勢・意欲	8	4	4	6	4	6	4	8	
	第一次審査合計（評価点/配点合計）		96	58	56	69	67	69	58	71	
			100%	60%	58%	72%	69%	72%	60%	74%	
	第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12	6	9	6	12	9	9	6
			目標Ⅱへの提案についての評価	12	6	9	9	9	9	9	6
目標Ⅲへの提案についての評価			12	9	9	6	9	9	6	9	
目標Ⅳへの提案についての評価			12	6	6	6	12	9	6	6	
ビジョン2の 技術提案評価		目標Ⅴへの提案についての評価	12	9	9	6	12	6	6	6	
		目標Ⅵへの提案についての評価	12	9	9	9	9	9	9	6	
ビジョン3の 技術提案評価		目標Ⅶへの提案についての評価	12	9	9	6	12	9	9	9	
		目標Ⅷへの提案についての評価	12	6	9	9	12	9	9	9	
課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮		業務内容と課題等への理解	12	9	6	9	9	9	9	6	
		工程、手順の効率化と工期短縮	8	4	4	4	8	6	6	4	
工事費削減、 LCC、見積額		工事費削減の実績	4	2	3	2	3	3	2	2	
		工事費削減提案の妥当性等	8	4	6	4	6	6	4	4	
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8	6	6	6	8	6	6	6	
		設計業務費の見積額	4	2	2	2	2	3	2	2	
総合評価		総合評価	12	6	6	9	12	6	6	6	
第二次審査合計 (評価点/配点合計)		152	93	102	93	135	108	98	87		
		100%	61%	67%	61%	89%	71%	64%	57%		
第一次審査・第二次審査 総計 (評価点/配点合計)		248	151	158	162	202	177	156	158		
		100%	61%	64%	65%	81%	71%	63%	64%		

	評価項目	配点	D社								
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦		
第一次審査	経営状況等	経営状況	8	6	6	6	6	6	6	6	
		業務遂行能力等	8	8	8	8	8	8	8	8	
	労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	3	3	3	3	3	3	3	
		社会課題への対応	4	2	2	2	2	2	2	2	
	区内事業者点	区内事業者	4	0	0	0	0	0	0	0	
		区内協力事業所	4	0	0	0	0	0	0	0	
	応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	8	8	8	8	8	8	8	
		集会施設等の実績	4	4	4	4	4	4	4	4	
	ZEB化実績	ZEB化実績	4	4	4	4	4	4	4	4	
	総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4	4	4	4	4	4	4	
		予定する意匠担当	4	4	4	4	4	4	4	4	
		予定するその他の担当者	4	4	4	4	4	4	4	4	
	基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	9	9	9	12	12	9	9	
		提案の妥当性	8	6	6	6	8	8	6	8	
		取組姿勢・意欲	8	6	6	6	8	6	6	8	
		一体的整備への姿勢・意欲	8	6	4	6	8	6	6	8	
	第一次審査合計（評価点/配点合計）		96	74	72	74	83	79	74	80	
			100%	77%	75%	77%	86%	82%	77%	83%	
	第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12	9	6	6	6	9	9	6
			目標Ⅱへの提案についての評価	12	9	9	6	6	6	9	6
目標Ⅲへの提案についての評価			12	9	9	6	6	9	9	6	
目標Ⅳへの提案についての評価			12	9	6	6	6	9	9	0	
ビジョン2の 技術提案評価		目標Ⅴへの提案についての評価	12	12	9	6	6	9	9	6	
		目標Ⅵへの提案についての評価	12	9	9	6	6	9	9	9	
ビジョン3の 技術提案評価		目標Ⅶへの提案についての評価	12	12	9	6	6	9	9	6	
		目標Ⅷへの提案についての評価	12	12	9	6	6	9	9	9	
課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮		業務内容と課題等への理解	12	12	12	6	6	12	9	6	
		工程、手順の効率化と工期短縮	8	6	6	4	4	6	8	0	
工事費削減、 LCC、見積額		工事費削減の実績	4	3	2	2	2	3	3	2	
		工事費削減提案の妥当性等	8	8	4	4	4	6	6	4	
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8	6	4	4	4	6	6	4	
		設計業務費の見積額	4	3	2	2	2	2	2	2	
総合評価		総合評価	12	9	6	6	6	6	12	6	
第二次審査合計		152	128	102	76	76	110	118	72		
(評価点/配点合計)		100%	84%	67%	50%	50%	72%	78%	47%		
第一次審査・第二次審査 総計		248	202	174	150	159	189	192	152		
(評価点/配点合計)		100%	82%	70%	60%	64%	76%	77%	61%		

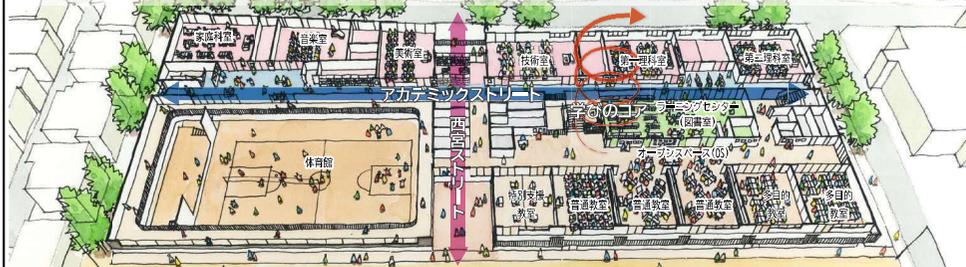
	評価項目	配点	E社								
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦		
第一次審査	経営状況等	経営状況	8	6	6	6	6	6	6	6	
		業務遂行能力等	8	8	8	8	8	8	8	8	
	労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	2	2	2	2	2	2	3	
		社会課題への対応	4	3	3	2	3	3	3	2	
	区内事業者点	区内事業者	4	0	0	0	0	0	0	0	
		区内協力事業所	4	0	0	0	0	0	0	0	
	応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	8	8	8	8	8	8	8	
		集会施設等の実績	4	3	3	3	3	3	3	3	
	ZEB化実績	ZEB化実績	4	3	3	3	3	3	3	3	
	総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4	3	4	4	4	4	4	
		予定する意匠担当	4	3	3	3	3	3	3	3	
		予定するその他の担当者	4	4	4	4	4	4	4	4	
	基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	12	9	9	12	9	12	12	
		提案の妥当性	8	6	6	8	8	8	8	8	
		取組姿勢・意欲	8	6	4	6	8	6	8	8	
		一体的整備への姿勢・意欲	8	8	6	6	8	6	8	8	
	第一次審査合計（評価点/配点合計）		96	76	68	72	80	73	80	80	
			100%	79%	71%	75%	83%	76%	83%	83%	
	第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12	12	12	9	9	9	12	9
			目標Ⅱへの提案についての評価	12	9	12	9	9	9	12	9
目標Ⅲへの提案についての評価			12	12	9	6	9	9	9	6	
目標Ⅳへの提案についての評価			12	9	9	9	9	9	9	9	
ビジョン2の 技術提案評価		目標Ⅴへの提案についての評価	12	12	9	9	9	12	9	6	
		目標Ⅵへの提案についての評価	12	9	12	6	6	9	12	6	
ビジョン3の 技術提案評価		目標Ⅶへの提案についての評価	12	9	12	9	9	12	9	9	
		目標Ⅷへの提案についての評価	12	9	12	9	6	9	12	9	
課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮		業務内容と課題等への理解	12	12	12	6	9	9	12	6	
		工程、手順の効率化と工期短縮	8	8	6	6	6	6	6	4	
工事費削減、 LCC、見積額		工事費削減の実績	4	4	3	3	2	3	3	2	
		工事費削減提案の妥当性等	8	8	8	4	4	6	6	6	
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8	6	6	6	4	6	6	4	
		設計業務費の見積額	4	3	2	2	2	3	3	2	
総合評価		総合評価	12	9	12	9	6	9	9	9	
第二次審査合計 (評価点/配点合計)		152	131	136	102	99	120	129	96		
		100%	86%	89%	67%	65%	79%	85%	63%		
第一次審査・第二次審査 総計 (評価点/配点合計)		248	207	204	174	179	193	209	176		
		100%	83%	82%	70%	72%	78%	84%	71%		

	評価項目	配点	F社								
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	委員⑦		
第一次審査	経営状況等	経営状況	8	8	8	8	8	8	8	8	
		業務遂行能力等	8	8	8	8	8	8	8	8	
	労働環境への配慮、 社会課題への対応	労働環境への配慮	4	3	3	3	3	3	3	3	
		社会課題への対応	4	2	2	2	2	2	2	2	
	区内事業者点	区内事業者	4	0	0	0	0	0	0	0	
		区内協力事業所	4	0	0	0	0	0	0	0	
	応募者の同種施設等 の実績	同種施設の実績	8	6	6	6	6	6	6	6	
		集会施設等の実績	4	3	3	3	3	3	3	3	
	ZEB化実績	ZEB化実績	4	4	4	4	4	4	4	4	
	総括責任者等の資格 及び実績	予定する総括責任者	4	4	3	4	4	4	4	4	
		予定する意匠担当	4	3	3	3	3	3	3	3	
		予定するその他の担当者	4	3	3	3	3	3	3	3	
	基本方針の 理解と意欲	基本方針の理解	12	9	12	9	6	9	12	12	
		提案の妥当性	8	6	6	8	4	6	8	8	
		取組姿勢・意欲	8	6	8	6	4	6	8	8	
		一体的整備への姿勢・意欲	8	6	8	6	4	6	8	8	
	第一次審査合計（評価点/配点合計）		96	71	77	73	62	71	80	80	
			100%	74%	80%	76%	65%	74%	83%	83%	
	第二次審査	ビジョン1の 技術提案評価	目標Ⅰへの提案についての評価	12	6	9	6	6	9	9	6
			目標Ⅱへの提案についての評価	12	9	9	6	6	9	9	9
目標Ⅲへの提案についての評価			12	9	6	9	6	9	9	12	
目標Ⅳへの提案についての評価			12	9	12	9	6	9	9	6	
ビジョン2の 技術提案評価		目標Ⅴへの提案についての評価	12	9	9	9	6	9	6	9	
		目標Ⅵへの提案についての評価	12	9	9	9	9	9	6	9	
ビジョン3の 技術提案評価		目標Ⅶへの提案についての評価	12	12	12	6	9	12	9	12	
		目標Ⅷへの提案についての評価	12	9	12	9	9	9	9	9	
課題取組と解決、工程等 の効率化と工期短縮		業務内容と課題等への理解	12	9	12	6	6	9	6	6	
		工程、手順の効率化と工期短縮	8	8	8	4	4	6	4	4	
工事費削減、 LCC、見積額		工事費削減の実績	4	3	2	2	2	3	2	2	
		工事費削減提案の妥当性等	8	6	8	4	4	6	4	4	
		ライフサイクルコスト(LCC)の最小化	8	6	6	6	4	6	4	4	
		設計業務費の見積額	4	3	2	2	2	2	2	2	
総合評価		総合評価	12	9	9	9	6	6	6	9	
第二次審査合計		152	116	125	96	85	113	94	103		
(評価点/配点合計)		100%	76%	82%	63%	56%	74%	62%	68%		
第一次審査・第二次審査 総計		248	187	202	169	147	184	174	183		
(評価点/配点合計)		100%	75%	81%	68%	59%	74%	70%	74%		

## 技術提案書概要版

# 「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を実現する 自主・自立の教育を支えるみんなの学び舎

変化の激しい社会の中で、「自分らしく豊かに生きるよどころ」となる教育の場を目指します。  
専門教育の軸「アカデミックストリート」と活動の中心軸「西宮ストリート」、  
学年間のつながり「学びのコア」が立体的に交差する学校で、  
生徒が主体的に学び、地域と交流し、自己を表現する力を育む、みんなが共に教育を創る学び舎を実現します。



## 特に重視する設計上の配慮事項

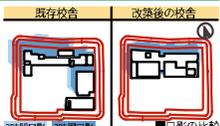
### 教育・周辺環境に配慮した合理的な配置計画

・児童の学習環境の確保と周辺環境環境への配慮を両立し、地域と共生する合理的な配置計画とします。

評価軸	北側配座	東側配座	南側配座
教育環境	○ 西側教室	△ 東・北側	△ 南・北側教室
敷物への出入り	○ 西側	△ 東・北側	△ 南・北側
敷物の出入り	○ 西側	△ 東・北側	△ 南・北側
周辺環境への配慮	○ 従来と同じ	△ 南・東に圧迫感	△ 南・東に圧迫感
仮設校舎の有無	○ 仮設あり(一部)	△ 仮設あり	△ 仮設なし
工事車動線	○ 北側	△ 北側	○ 南側
総合評価	○	△	△

### 近隣も校内も明るくなる配置計画

・建物を南側に向けてセットバックした計画とし、現在の校舎より周囲に日影が落ちる範囲を削減した計画とし、近隣住民の日照に配慮します。



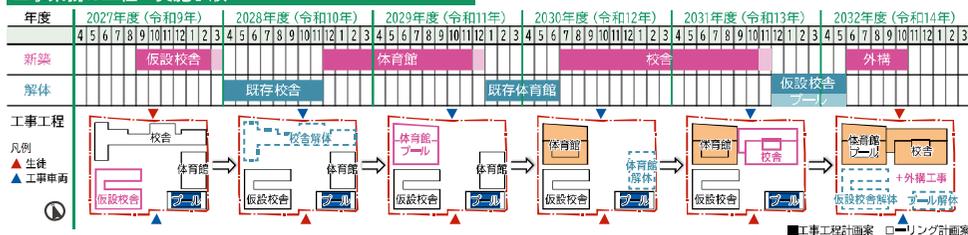
## 実施に際しての課題認識と、その課題に対する取組

### 学習環境と地域配慮を両立する建替工事マネジメント

・周辺は住宅街かつ道路幅員も限られており、学校を運営しながらの建て替え工事は、学習環境及び周辺への影響や安全に配慮する必要があります。ローリング計画及び仮設校舎の検証を綿密に行い、本計画における工事計画の最適解を導きます。

・学校運営や近隣への影響を抑える工事計画を実施します。振動・騒音対策、解体時の粉塵対策等を行います。

### 工事業務の工程・実施手順



## 本業務の取組体制と担当チームの特徴、重視する業務上の配慮事項

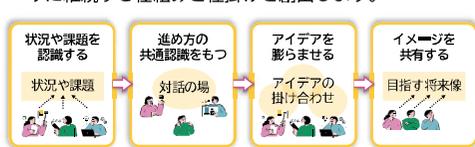
### 学校コンセプトを具現化する経験豊富な担当スタッフ

・学校分野のエキスパートである統括責任者を始め、教育施設・地域交流施設・特別支援学校等の経験をもつスタッフを主任技術者及び担当技術者として配置、最適なチーム組成により全社一丸となって本業務に取組みます。

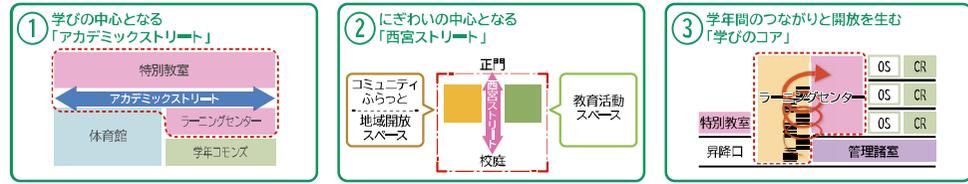


### 業務実施期間における関係者の意見聴取に関するワークショップ等の実施及び懇談会の場での委員への説明等に関する提案

・既存施設の課題把握から学び・交流の場を共有し、理解→納得→合意の段階的プロセスで丁寧に進めます。  
・参加者が自分事として議論できる環境を整え、ワークショップでの協働体験が開校後の学校づくりに継続する仕組みと仕掛けを創出します。



## ビジョン1の考え方 西宮中学校の教育目標である「徳」「知」「体」を実現し、学力向上の推進に寄与する学校を杉並区の皆さまとともに創ります



## 目標Ⅰ「主体的で深い学びを追求する学校づくり」

### 取組A 学年のまとまりと安定した学びを促す「学年 commons」

- ・普通教室、多目的教室、オープンスペース、便所、教材室を集約した「学年 commons」を形成し、学年のまとまりと安定した学びを促すことで、学年単位から少人数まで、多様な学習形態に対応できる空間とします。
- ・オープンスペースは他学年の動線から独立させ、安定した学習環境を確保します。フレキシブルな家具配置や可動式ホワイトボードとプロジェクション機能の導入により、個人学習からチーム活動まで多様な学習スタイルに対応します。
- ・教室やオープンスペースの吸音材の適切な配置による音響設計と、教師による見守りも可能な配置により、生徒の自主性と安全性を両立した空間を提案します。



■教室及びオープンスペースのイメージ

### 取組B 生徒一人ひとりに寄り添った学習環境づくり

- ・ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を行い、インクルーシブ教育を推進します。特別支援教室を普通教室に隣接して配置し、支援が必要な生徒のスムーズな移動と心理的負担を軽減し共に学び合う環境を実現します。
- ・保健室や個別対応室等は個別の動線を確保するなど、生活パターンの異なる生徒に対し細やかに配慮した教育環境を提案します。
- ・多様性に配慮した便所や個室型更衣室を配置します。

### 取組C 学校の中心「アカデミックストリート」と「学びのコア」

- ・生徒の学習を深化させる「学びの場」として、学校を東西に横断し、ラーニングセンターや特別教室と一体的に活用できる「アカデミックストリート」を計画します。
- ・「アカデミックストリート」は、校舎全体を東西に貫く学びの動線として、ラーニングセンターと特別教室を一体的に結びつけます。「アカデミックストリート」に各教科 commons を配置し、教科間の有機的な連携を促進します。
- ・日常的に利用しやすい学校の中心にラーニングセンターを配置します。ラーニングセンターは隣接する階段と共に「学びのコア」を形成し、各階が空間的につながる立体的な構成とします。
- ・2～4階の吹き抜けにより、視覚的・空間的な一体感が生まれ、異学年交流を促進します。

## 目標Ⅱ「西宮中学校の特色を備えた学校づくり」

### 取組D 「西宮ストリート」を中心とした活気あふれる学びと活動

- ・校庭から正門を南北に結ぶメイン動線として、西宮中のにぎわいの中心となる「西宮ストリート」を計画します。
- ・「西宮ストリート」は各施設の入出口が面した校舎と体育館の間にある半屋外スペースであり、昨今の猛暑や雨天災害時等も利用出来る多様な活動スペースになります。
- ・「西宮ストリート」から体育館で行われる活動を見ることが出来る計画とし、生徒たちの交流を促します。
- ・校庭面積は現状以上を確保し、教育活動に必要な広さを確保します。また体育館を校庭に面して配置し、掃出窓を開放することで体育館と校庭が一体的に利用できる計画とし、体育祭や部活動を盛り上げます。

### 取組E 西宮中の活気あるコミュニケーションを促す仕掛けづくり

・職員室前に設置する質問コーナーや学年 commons に計画する先生ステーションは、生徒と教職員の活発で細やかなコミュニケーションを促進します。

## 目標Ⅲ「将来にわたって使い続けられる学校づくり」

### 取組F・G 将来を見据えた可変性のある施設計画

- ・教育活動スペースに段階的なセキュリティラインを設定し、また多世代利用を想定した計画とすることで、将来的に地域開放スペースとして活用できる計画とします。
- ・多目的室は、教室への転用や移動間仕切りにより、一学年が集まるスペースへの拡張など多様な使い方ができる設えとし、生徒数の増加や教育施策の転換にも対応できるように設計します。

### 取組H 将来・日常の施設管理に負担をかけない施設計画

・各建材の更新周期を統一することで、修繕の負担を軽減し、施設を利用できない期間を最小化します。

## 目標Ⅳ「教職員や支援者の交流に配慮した施設を備えた学校」

### 取組I 教職員の働きやすさを向上させる教職員 commons

- ・職員室は校庭の見守りとメイン階段への隣接によりアクセシビリティを高めます。
- ・カウンターや休憩スペース、打合せスペース、印刷室等を集約した「教職員 commons」を計画し、多様化・複雑化する先生の業務を支援します。

### 取組J 支援者との協働による学習の充実と教職員の負担軽減

- ・学校支援本部・PTA室は独立して利用可能で、「教職員 commons」や特別教室にアクセスしやすい配置とすることで、教職員と支援者が迅速かつ円滑に連携し、地域人材による豊かな学びが展開できる計画とします。
- ・将来的な部活動の外部指導委託を見据え、校庭に控室を配置する必要性も検討し、指導者や外部講師が、生徒たちの活動をサポートできる環境を整備します。

ビジョン2の考え方

閑静な住宅街にふさわしい佇まいの学校を計画し、環境配慮と防災機能を兼ね備えたエコスクールを創ります

目標V「安心・安全地域の拠点として機能する学校づくり」

取組K 地域の安心・安全を支える建築計画

- 歩道状空地や街路灯、見通しのきく囲護などを外構に配置し、生徒及び地域の安全性・防犯性を向上させます。
全ての門や昇降口をはじめ、敷地各所に施設管理者及び地域の目が届く計画とし、生徒を安全に見守る環境を整えます。
建物は重要度係数1.25以上の高い耐震性能を確保し、天井やガラスなどの非構造部材も落下防止措置を徹底します。

取組L 日常と非日常をつなぐ 防災教育拠点

- 半屋外空間や夜間照明を整備し、震災救援所訓練が天候や時間帯に関わらず円滑に実施できる環境とします。
防災設備は防災教育教材としても活用し、日常的な防災意識の醸成と実践的な訓練の場を提供します。

取組M 学びを止めない 多機能型防災拠点

- 災害時に地域住民を受け入れるための避難スペースや防災井戸、マンホールトイレ、学校防災倉庫等を集約して配置し、地域防災拠点としての機能を確保します。
避難所となるコミュニティからつと及び体育館を校舎と明確に区分して計画します。コミュニティからつと及び体育館が独立した震災救援所として機能するため、早期に校舎での授業再開が可能となります。
屋上プールは水は災害時に消火活動やトイレ洗浄用として利用でき、断水時の衛生環境を維持します。

目標VI「環境に配慮し、周辺環境と調和した学校づくり」

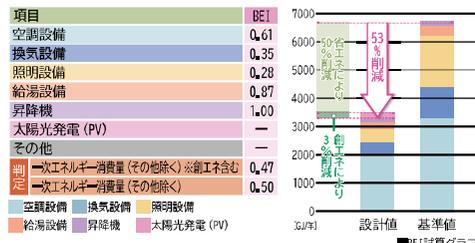
取組N 街並みに溶け込む 緑の学び舎

- 落ち着いた住宅街に調和するよう建物を分節し、圧迫感を抑えながらシンプルで豊かな表情をつくることで、地域の景観づくりに寄与します。



取組O 西宮中と宮前地域がともに育てるエコスクール

- 環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入により特別なコストをかけずにZEB Readyの達成を目指し、地域社会に調和した持続可能な学校を実現します。



ビジョン3の考え方

区内で初めての複合のカタチとして、これからの学校とコミュニティ施設の在り方を多角的に検討し、地域の学び舎としてのプロトタイプを構築します

目標VII「区民の学びや交流の場としての活用が進む施設づくり」

取組P 多世代交流による共育・共創を促進する建築的要素

- コミュニティからつとは、世代を超えた知識と経験の循環が生まれる学習コミュニティの拠点です。
「にぎわいコモンズ」を全諸室に面して配置し、創作活動を通じた世代間交流を促します。
多目的室では高齢者の技術を若い世代に伝えるプログラムが展開可能です。



取組Q 既存活動の発展と新たな交流の創出に寄与する拠点整備

- ゆうゆう大宮前館等で行われている既存の地域活動は、地域開放する特別教室で展開できます。その活動内容はメディアウォールを介して生徒や地域住民に発信され、相互理解と関係構築を促進します。
多世代に渡る利用者が居心地の良さや安心感を感じられるようラウンジは目的や気分に応じて居場所を選択できる設計とし、継続して利用したくなる環境を実現します。

目標VIII「身近な地域のコミュニティ形成につながる施設づくり」

取組R 学び舎と交流拠点の西宮流コラボレーション手法

- 中学校とコミュニティ施設は、建具の閉鎖によって確実にセキュリティ区画を形成できるゾーニングとします。
設計段階から杉並区や学校、事業者と施設運用方針を共有し、管理者によって利用しやすい建物計画を推進します。

取組S「第三の学びの場」となる新しい居場所

- 家庭・学校に次ぐ「第三の学びの場」として、小・中・高生が自由に活動できる拠点を計画します。
コミュニティからつとの出入口と中学校の昇降口を「西宮ストリート」に面して配置し、児童・生徒と地域住民の交流が生まれる場とします。

取組T 継承と発展を両立した多世代共育を促す環境整備

- 高齢者の知識や経験を活かした作品制作や教室開催の場を設け、世代間の知識伝承と交流を促進します。
徹底したバリアフリー設計により、年齢や障がいの有無に関わらず全ての人が平等に利用できる、開放的で温かみのある空間を実現します。

取組U 明確なゾーニングによる安全安心な複合化

- コミュニティからつとと学校専用部分を明確にゾーン分けし、独立した出入口によりセキュリティラインを明確化します。
外部利用者はコミュニティからつとのトイレを使用し、また特別教室開放時は生徒の個人情報や作品が外部の目に触れないよう配慮します。

